

市民建産常任委員会報告書

令和3年11月30日

委員長 古賀 誠視

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際し、令和3年10月21日、10月22日に関係部課長等の出席を求め委員会を開催いたしました。

市民部

環境課

環境整備係から、地球温暖化対策・環境負荷低減意識向上に関する取組、狂犬病予防注射の報告がありました。飼い主のいない猫に関する取組については、クラウドファンディングの取組の結果、目標の130%を超える寄附があったとの報告がありました。

資源循環推進係から、循環型社会形成推進事業、環境展、特設分別収集の報告がありました。

海津木苑から、処理状況、海津木苑施設等啓発の報告がありました。汚泥再生処理センター整備事業については、福津市より令和6年4月からの搬入開始時期を4か月早めたいとの申入れがあり、前向きに検討を行っているとの報告がありました。

委員から、市が行おうとしているゼロカーボンシティ宣言について、どの点に力点を置いて進めていくのか、との問いに、環境省もゼロカーボンシティ宣言にあたり、2050年度の脱炭素をめざすとの文言があり、当然、古賀市の宣言にも2050年度の脱炭素ゼロカーボンをめざすとの文言を入れた上で、全国的な流れや古賀市の状況も含めて検討していくとのこと。

飼い主のいない猫に関する取組について、クラウドファンディングで130%の寄附が集まったが、今後も計画を進めていくのか、との問いに、今後の寄附金の活用としては、令和4年度と5年度の地域猫の活動団体への補助に充当することにしており、計画どおり使っていきたい。また、令和5年度の時点で、さらに充実が必要であれば、再度行うことも考えていきたいとのこと。

環境人材バンクの活用状況はどのようになっているのか、との問いに、令和3年4月に登録の募集を開始し、7月から派遣を開始している。登録については、現在、10のプログラムと6名の環境アドバイザーの登録がある。派遣については、緊急事態宣言もあって大々的に広報等をしていないが、今後は小学校や地域の分館活動等にPRをしていきたいとのこと。

循環型社会形成推進事業の中で、先日から始まった雑がみ回収は、市民の皆さまに興味や関心を持っていただいているが、市民に対して雑がみ回収の意識向上に向けた啓発が足りないと思うが、との問いに、今年3月に家庭ごみの出し方パンフレットなどでも、よりわかりやすいような形で記載しているが、今後もホームページなどいろいろなところで、雑がみ回収の大切さや回収場所のPRなどを継続して啓発していきたいとのこと。

市民国保課

市民係から、令和3年9月末の総人口、外国人国籍別人口、個人番号カードの交付枚数とコンビニ交付サービスの利用実績の報告がありました。

国保係から、令和3年9月末の国民健康保険世帯数、医療費の第三者行為求償に係る訴えの

提起に対する結果についての報告がありました。

年金・医療係から、国民年金加入者数、後期高齢者医療被保険者数、重度障がい者医療受給者数、ひとり親家庭等医療受給者数、子ども医療受給者数の報告がありました。

委員から、10月20日から個人番号カードが健康保険証として使えるようになったが、古賀市では専用ポータルサイトを使って利用できる医療機関はどれくらいあるか、メリットとデメリットは、との問いに、現在、市内で個人番号カードを保険証として使える医療機関は、医科で1件、歯科で3件、調剤薬局が4件で、ほとんどの医療機関で使えない。メリットは入院した際に高額療養費等の対象になった場合、限度額認定証の申請なしに自動的に窓口では限度額までの支払いとなること。デメリットは健康保険証とマイナンバーカードを連動させる際に初回登録などの手間がかかるとのこと。

人権センター

人権教育・啓発係から、人権教育・啓発事業として人権尊重週間の取組、人権相談事業として人権擁護委員活動支援、人権センター職員対応相談件数、人権関係団体活動推進事業として古賀市社会「同和」教育推進協議会委託事業の報告がありました。

男女共同参画・多様性推進係から、男女共同参画啓発事業として図書館と名画会とのコラボで映画の上映、男女共同参画セミナーの開催、女性の活躍推進事業の報告がありました。性的マイノリティ支援事業については、当事者団体の協力で1月22日に交流会を開催予定との報告がありました。

委員から、人権擁護委員の男女比、そうだん5または人権センターの職員が対応した相談者の男女比率は、との問いに、人権擁護委員は現在8名で男女とも4名ずつになっている。また相談者の男女比率は女性の方が多いとのこと。

収納管理課

収納管理係から、令和3年度の市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の収納状況、令和3年度滞納処分状況の報告がありました。

委員から、今年度の滞納処分について、新型コロナウイルス感染症の影響はあるのか、との問いに、今年度は緊急事態宣言があり、搜索が出来ず、搜索件数がゼロ件で影響はあったとのこと。

市税課

市民税係から、毎年11月11日から17日を『税を考える週間』とし、様々な広報活動を実施しており、その中の1つとして、税に関する高校生の作文で、古賀市内の高校から2名が受賞との報告がありました。

委員から、12月以降は年末調整や確定申告などの事務が続くが、新型コロナウイルス感染症が再度拡大した場合の対応は、との問いに、対策としては予防の徹底を昨年を引き続き行う。確定申告では、年金受給者の方には事前予約の継続、自書申告の方にはパソコンを用意しており、そこに入力をしていただく。事前予約の電話受付は人材派遣の職員を配置し、混雑しない、人と接触しないを徹底して行いたいとのこと。

建設産業部

建設課

土木係から、主要な事業の進捗状況の報告がありました。西鉄宮地岳線跡地については、中川区、花見南区との設計協議を11月、12月頃に実施予定との報告がありました。

管理係から、令和3年度の県事業で工事費が100万円以上の工事予定箇所、前回の報告内容から変更があった箇所について、谷山地区の谷山川の浚渫、薬王寺地区の薬王寺川の護岸補修、米多比谷山古賀線のあすなろ教室付近の舗装等の工事の報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の進捗の報告がありました。

委員から、西鉄宮地岳線跡地の協議について、中川区と花見南区の今後のスケジュールは、との問いに、中川区は前回の設計協議で頂いた意見を反映させた図面を持って、また協議する予定。花見南区は素案が出来たので、1回目の設計協議を行う。その他の行政区は、年度内に1回は実施したいとのこと。

JR千鳥駅の東口開発について、いつまでには完成させたいという計画があるのか、踏切周辺の狭い道路の整備も含めて実施されるのか、との問いに、JR千鳥駅東口の整備のスケジュールについては、交付金が決定し事業が開始されたときに設計に入ることになり、その次年度あたりに工事が着手すると考えているが、踏切周辺の整備は今のところ考えていないとのこと。

後牟田大池線の道路改良工事について、工事が進んでいるが、歩行者や自転車の通行に関して地元で安全性を危惧する方もいるが、説明会についての考えは、との問いに、関係行政区との間で説明会をするかしないか、地元と話しながら決めている。施工区間外の行政区でも説明会をして欲しいとの要望があれば実施するとのこと。

上下水道課

総務・上水道管理係から、市民討議会の日程、水に関するアンケートの中間報告の報告がありました。

上水道係、下水道係から、令和3年度の工事箇所の報告がありました。

委員から、市民討議会に参加される方は何人で、グループの分け方やどのような話を進めていく予定なのか、との問いに、参加者の合計人数は、第1回から第3回で合計35人、30代から70代の方が参加するので、色々な年代の方でグループ分けを行い、話合いの進め方は、まず上下水道課から現状を説明、そのあとグループを分け、具体的に今後の浄水場の在り方などの質問を受けながら意見を出していただくとのこと。討議会の内容を取りまとめたものは公開されるのか、との問いに、討議会終了後の結果は、市民に報告できるように進めたいとのこと。

農林振興課

農林振興係から、農家直売！軽トラ市について、12月19日の日曜日に開催予定との報告がありました。

農政係から、古賀市クラウドファンディング型新規就農者チャレンジ支援事業として、30代の新規就農者の博多自然薯プロジェクト、古賀市クラウドファンディング型女性農業者チャレンジ支援事業としてドライフラワー再生事業の2つの事業について、12月から1か月間、古賀市のふるさと納税サイトで寄附の募集を開始するとの報告がありました。古賀市担い手農地確保支援事業の報告がありました。

農林土木係から、農業用施設改良事業、ため池ハザードマップ作成業務委託、令和3年度8月豪雨等災害の報告がありました。

委員から、新型コロナウイルスの影響等で間伐材の活用など林業の状況は、との問いに、現在は、事業の実施途中であり、結果が出次第報告したいとのこと。

なぜ古賀自然薯ではなく博多自然薯なのか、との問いに、生産者の方が博多自然薯として商標の登録を申請中であり、いずれは古賀自然薯になればと思うが、まずは博多自然薯というネーミングで挑戦をされたいとのこと。

クラウドファンディングの取組はふるさと納税にカウントされるのか、どのようにふるさと納税のサイトに掲載されるのか、との問いに、古賀市でふるさと納税の委託を行っているふるさとチョイスというサイトで掲載される予定で、その中にガバメントクラウドファンディングという自治体向けのふるさと納税プロジェクトに対して寄附金を募る専用のサイトがあり、その中で募集を行っていくとのこと。

商工政策課

商業観光係から、消費生活センター、地域消費喚起キャッシュレス推進委託、まつり古賀、地域おこし協力隊、J R 古賀駅西口エリア活性化プロジェクトの報告がありました。

事業者支援係から、無料職業紹介所、ふるさと応援寄附の報告がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止補助金については、10月13日現在の交付決定件数は94件、交付決定金額は2,172万6,000円との報告がありました。

その他として、商工政策課が所管する駅前憩いの広場について、古賀市公共施設等総合管理計画第1期アクションプラン案において、廃止に向けて検討するとの報告がありました。

委員から、地域おこし協力隊の隊員の採用はどういうところに重点を置いているのか、との問いに、中心市街地活性化支援隊員については、市街地の活性化、特にJ R 古賀駅西口の活性化の支援に従事していただくことを考えている。採用済みの観光活性化支援隊員については、観光協会との取組や、発信力を持った方なので、市と一緒にSNS発信等を強化したいとのこと。

新宮町ではふるさと納税寄附額が前年度比で10億円以上伸びていると聞くが、他自治体もあまおうを取り扱いだして同じ条件の中で、なぜ古賀市だけ伸びが悪いのか。ふるさと納税のサイトを見ても、金額も同じような商品の出し方をしており、どのように捉えているのか、との問いに、あまおうは古賀市においてもメインの返礼品の一つであるので寄附を伸ばしていくことに加え、新しく事業者、返礼品の開拓も同時に進め、寄附を検討されている方の注目を浴びるような取組を鋭意、調査研究し、対策を講じていきたいとのこと。

駅前憩いの広場の取組については、J R 古賀駅西口活性化プロジェクトが取り組まれている間に、ぜひ結びつけてやっていただければと期待しているが、との問いに、西口活性化プロジェクトの関係者の方々と意見交換を踏まえ、機運がある事業者さんの声をキャッチしながら、内部で議論を積み重ねていきたいとのこと。

都市整備課・古賀駅周辺開発推進室

開発指導係から、古賀市木造戸建住宅耐震改修工事等補助金交付要綱について、これまでの耐震改修工事及び耐震シェルター、耐震ベッド設置工事に加え、建て替え等に伴う除却工事を補助対象に追加し、令和3年10月1日から施行するとの報告がありました。

公園・緑地係から、千鳥ヶ池公園ヒシ取り業務委託の報告がありました。

都市計画係から、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れていた高田地区の区域指定について、高田区からの要望書の提出があり、区域指定の検討を進めるとの報告がありました。

委員から、耐震改修工事について、予定されている件数はどれくらいを想定しているのか、との問いに、本格的には令和4年度からの事業になる予定で、今年度中は周知を行い、補助要

綱に沿った形で執行できる申請があった場合には、一、二件は対応できるものと考えているとのこと。

J R 古賀駅東口の行政区への説明会はいつごろを予定しているのか、との問いに、古賀東区の説明会は年内から年明けを考えているが、まだ未確定な状況とのこと。

高田区の区域指定はどの程度の広さを予定しているのか、との問いに、これから地元の方々と協議しながら進めていく予定のため、図面などはもう少し先になるとのこと。

以上、議会閉会中の所管事務調査報告を終わります。